



AiZ'S-RICE  
Premium Rice from AiZU  
by AiZU Agricultural Bank in 1848

# AiZ'S-RICE通信

2022年

Vol.8  
(2022年8月発行号)



異例の早さの梅雨明けの後、  
不安定な天候が続いた会津盆地。  
生産者は今日も稻を見守ります。

今年は6月下旬に高温となり異例の早さでの梅雨明けとなりましたが、7月に入ってからは曇りや雨の日が多く不安定な天候が続きました。AiZ'S-RICEの生産者たちは、変化の激しい天気や気温に、稻が負けないで育つよう、連日田んぼと向き合い、きめ細やかな対応を行っています。もっとおいしいAiZ'S-RICEをみなさまにお届けするために、まさに1日1日が真剣勝負です。どんなお米に仕上がるのか。秋の収穫をご期待ください。

あいづの厳選米生産推進協議会



会津産コシヒカリ  
「食味ランキング」  
9年連続  
「特A」  
(2013年度から)

食味値  
80点以上  
玄米タンパク質  
含有率6.4%  
以下

特別栽培米  
ガイドラインに  
基づいて  
栽培

会津清酒の  
酒粕を  
肥料に

安全・安心  
グリホサート系除草剤  
及びネオニコチノイド系  
農薬  
不使用

## 県の専門員による栽培技術の助言

高品質で安定的な栽培方法の確立を目指して、生産者たちは生育状況についての検討を重ねています。今年は7月12日(火)に会津若松市内のAiZ'S-RICEの田んぼで生育状況検討会を実施しました。この取組により、年々要件達成率を向上させることができ、総収量も大きく増加しています。生産者たちは専門員の話に真剣に耳を傾け、それぞれの栽培技術について意見を出し合い、よりよい米づくりへのヒントを得ていました。登熟状態に応じた最良のタイミングで収穫ができるよう9月にも現地検討会を実施する予定です。



AiZ'S-RICEを栽培する生産者たちが集まり、専門員を囲んで意見交換を実施。

## 飯盛山の紹介

会津若松市中心部の東側に位置する飯盛山は、飯を盛ったようなかたちをした山で、戊辰戦争の悲劇として語り継がれる白虎隊ゆかりの地です。戦場から退却して飯盛山に辿り着いた際、ここから見た黒煙に包まれた景色から鶴ヶ城が陥落したと受け止め、少年たちは自ら命を絶ちました。彼らが眠る白虎隊十九士の墓をはじめ、国の重要文化財の会津さざえ堂等、多くの史跡が残されています。



飯盛山

頂上までの183段の石段はスロープコンベアでラクに登れます。麓にはおみやげやが立ち並びます。



白虎隊  
十九士の墓

ふるさと会津を愛した白虎隊士19名は今もここに眠ります。



会津さざえ堂  
世界でも珍しい二重螺旋構造。ザザエのような外観が特徴です。



## 観測以来、初めて6月中の梅雨明けとなった異例の夏。

その後も不安定な天候が続き、1日も目が離せない、まさに真剣勝負の日々です。

7月25日(月)、青々とした田んぼが広がる会津盆地には、雲の合間から時折陽光が差し込んでいました。

梅雨明けの後、不安定な天候が続く中、AiZ'S-RiCEの生産者の取組を取材しました。

### 1 年より25日、昨年より17日早い梅雨明け。

今年の東北南部の梅雨明けは6月29日でした。平年より25日、昨年より17日早く、1951年の観測開始以来、6月中に東北地方で梅雨が明けたのは初めてのことです。しかしながら、7月に入ってから「戻り梅雨」のような不安定な天候が続き、生産者にとっては1日も気を抜けない日々となりました。夏の暑さと不安定な気候によって稻を疲弊させないように細心の注意が必要です。「朝晩2回、毎日田んぼを見に来ます。1回じゃ足りません。」そう語るのは会津若松市河東町でAiZ'S-RiCEを栽培する長谷川さんです。



会津盆地一面に広がる青々とした田園。この日も雲が多く見られた。

### 2 AiZ'S-RiCEならではののびのびとした生育環境。

会津盆地には一面の青々とした田園が広がっています。どれがAiZ'S-RiCEの田んぼなのか一見しても分かりません。「稻と稻の間隔を見てください。」長谷川さんに言われるまま目を凝らすと、その田んぼだけ、稻と稻の間の水面に光が反射していました。「うちではAiZ'S-RiCEの田んぼは、陽光をいっぱい浴びられるよう間隔を広く保って稻を植えています。風も通りやすく病気を予防できます。」実際、AiZ'S-RiCEの稻は束が太く、生命力を感じます。量でなく質を求めた栽培方法がおいしさの違いに繋がっています。



▲水面まで陽光が降り注ぐほど十分な間隔をとっている。

►一般的な田んぼの様子。稻と稻の距離が近い。

### 3 AiZ'S-RiCEを超え、さらなる高みを目指す。

「米づくりには教科書に載っているような正解はありません。」と語る長谷川さんは、13の経営体で構成される生産部会の部会長でもあります。AiZ'S-RiCEの厳しい条件をクリアするだけでなく、さらなる品質向上に努めています。「自分の作った米が、評価される。それがやりがいにもなります。生産者同士で切磋琢磨し合う日々です。」AiZ'S-RiCEのおいしさの背景には、生産者一人ひとりの真っ黒に焼けた笑顔があり、情熱があります。秋の収穫まで真剣勝負は続きます。



朝晩2回は田んぼを訪れ、小さな変化にも気を配る。

### AiZ'S-RiCEをつくる人

地元の学校の給食に出たAiZ'S-RiCEを食べて、

子どもたちがおいしいと言って

くれたのがなによりの喜び。

子どもたちは正直ですから。

みなさんもぜひ召し上がって

みてください。



会津若松市  
長谷川 泰道さん

異例の天候が続く中、稻を第一に考えて、稻と向き合う生産者たち。この一日一日の積み重ねが秋の豊かな実りへとつながります。収穫まであと2ヶ月。ご期待ください。

#### お問い合わせ

あいづの厳選米生産推進協議会(事務局:会津若松市農政部農政課内)

※令和4年4月18日から移転により住所・連絡先が変更となりました。

〒969-3481 福島県会津若松市河東町郡山字休ミ石14番地

TEL:0242-23-9973 FAX:0242-36-7142